

参議院復興特別委員会で釜石市、大槌町、山田町、宮古市を訪問しました

参議院復興特別委員会の役員が2月25日、26日に、岩手県の釜石市、大槌町、宮古市、山田町の東日本大震災からの復興状況の視察を行い、筆者も参加してきました。

釜石では、今年開催されるラグビーのワールドカップで2試合が行われることが決まっている鶴住居の復興スタジアムを見学しました（写真1、2）。

大槌町では、被災した商店が集まっている「きらり商店街」を訪問しました。震災直後にくらべ出店している店舗は、再建や廃業などによって減っているものの、もう少しここで商売を頑張りたいという方々がおられました（写真3）。

平野大槌町長、きらり商店街のかたがたとの意見交換をおこないました（写真4）。

三陸鉄道で未開通であった、宮古、釜石間がいよいよ開通の運びとなりました。現在試運転期間中ですが、そこに試乗させていただきました。久慈、大船渡がつながることになりました（写真5、6）。

宮古市田老地区の高台移転の状況を展望台から視察しました。

山田町では、高台移転が完了した織笠地区を視察し、その後、佐藤町長、住民の方々との懇談をおこないました（写真7、8）。

【写真1】



【写真2】



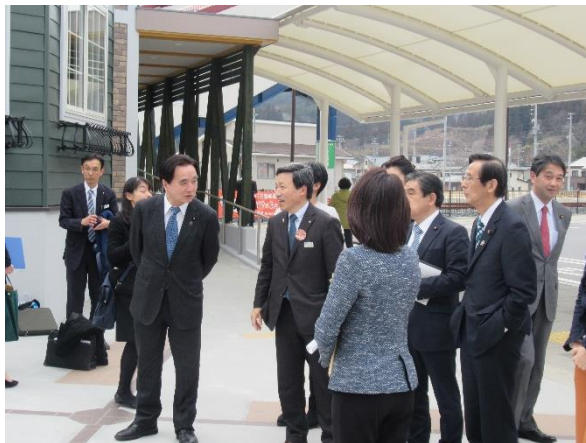
【写真3】



【写真4】



【写真5】



【写真6】



【写真7】



【写真8】



(平成31年2月25日・26日)